

研 究 報 告

第 11 号

- ローベルト・ヴェルザーにおける寓話性 (2) …………… 吉 田 孝 夫 (1)
——放蕩息子をめぐるとの二つの散文小品について——
- ドイツ語の与格の分類について…………… 片 岡 宜 行 (25)
- クリスタ・ヴォルフ『クリスタ・Tへの追想』
について…………… 國 重 裕 (41)
——その語りの構造——
- ゴットフリート・ベンにおける
〈抒情的自我〉概念の登場をめぐって…………… 飛鳥井 雅 友 (61)

1998

京都大学大学院独文研究室

INHALT

YOSHIDA Takao :

Parabolisches bei Robert Walser (2) (1)
——Die zwei Geschichten vom verlorenen Sohn——

KATAOKA Yoshiyuki :

Zur Klassifizierung des deutschen Dativs (25)

KUNISHIGE Yutaka :

Christa Wolf: Nachdenken über Christa T (41)
——Zur Struktur der Erzählweise——

ASUKAI Masatomo :

Auftreten und Verwendung des Begriffs vom ›lyrischen Ich‹
bei Gottfried Benn (61)

研究報告 第11号

非売品

1998年3月発行

発行所 京都大学文学部独文研究室
〒606-8501 京都市左京区吉田本町
郵便振替 01060-2-38520

印刷所 昭和堂印刷所
京都市左京区百万遍交差点上ル東側